

平成27年7月29日  
上場取引所 東 福

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社

コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 鶴池 正清 TEL 092-641-8585

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 平成27年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	200,994	△1.1	2,430	△14.9	2,295	△20.2	8,857	930.1
26年12月期第2四半期	203,145	3.5	2,855	△40.3	2,878	△49.3	859	△92.2

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 10,128百万円 (296.8%) 26年12月期第2四半期 2,552百万円 (△80.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	81.15	—
26年12月期第2四半期	7.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	382,893	262,003	68.3
26年12月期	337,260	254,150	75.2

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 261,595百万円 26年12月期 253,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
27年12月期	—	20.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,600	6.2	12,500	13.6	12,100	14.1	14,200	216.8	130.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 四国コカ・コーラボトリング株式会社、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、〔添付資料〕3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期2Q	111,125,714株	26年12月期	111,125,714株
27年12月期2Q	1,985,881株	26年12月期	1,984,123株
27年12月期2Q	109,140,853株	26年12月期2Q	109,142,914株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年2月4日に公表いたしました業績予想から修正しております。業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善傾向が継続し、個人消費についても持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、消費者の節約志向が続く中、清涼飲料各社間の激しい販売競争などの影響により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、清涼飲料事業におきましては、平成27年の経営方針を、『「会社をゼロから見直す」べく、すべての業務を基本に戻って抜本的に見直し、会社の実力に見合った費用・投資・要員体制とする』、『お客さま起点でエリア別、チャネル別にお得意さまに応じた市場実行を徹底し、売上高、営業利益、販売数量および市場シェアのすべてにおいて、数値目標の達成を目指す』とし、それによって経営目標の達成を目指すとともに、将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めてまいります。

健康食品業界および化粧品業界におきましては、健康志向が高まる中、大手企業をはじめとした他業種からの新規参入や低価格商品の増加等により、両市場ともに、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、ヘルスケア・スキンケア事業におきましては、平成27年の重点戦略を、「通販プラットフォームの強化（商品カテゴリー別に市場環境を踏まえたマーケティング戦略）」、「新機能性表示制度に対応した商品戦略」とし、強みを最大限に活かした活動を行い、お客さまからの信頼を獲得し、継続的な成長を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

#### <売上高>

清涼飲料事業においては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減等により、売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ12億9千3百万円減少し、1,847億3百万円（前年同期比0.7%減）となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においては、消費税増税後の市場低迷に伴う販売減少等により、売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ8億5千6百万円減少し、162億9千万円（同比5.0%減）となりました。これにより、セグメント合計の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ21億5千万円減少し、2,009億9千4百万円（同比1.1%減）となりました。

#### <営業利益および経常利益>

清涼飲料事業においては、コストの削減に取り組んだものの、上述した売上高の減少により、営業利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ2億6千9百万円減少し、11億6千8百万円（同比18.8%減）となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においては、上述した売上高の減少等により、営業利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ1億5千5百万円減少し、12億6千2百万円（同比10.9%減）となりました。これにより、セグメント合計の営業利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ4億2千5百万円減少し、24億3千万円（同比14.9%減）となりました。また、主に営業利益の減少により、経常利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ5億8千2百万円減少し、22億9千5百万円（同比20.2%減）となりました。

#### <四半期純利益>

経常利益は減少したものの、当社が平成27年5月18日付で、四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式を全株取得し、平成27年6月30日をみなし取得日として同社を連結対象としたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において負ののれん発生益84億4千5百万円を特別利益に計上したことなどにより、四半期純利益は、前第2四半期連結累計期間に比べ79億9千7百万円増加し、88億5千7百万円（同比930.1%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ456億3千2百万円増加し、3,828億9千3百万円（前連結会計年度比13.5%増）となりました。これは主に、300億円の社債の発行および四国コカ・コーラボトリング株式会社を連結対象としたことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ377億8千万円増加し、1,208億8千9百万円（同比45.5%増）となりました。これは主に、上述した社債の発行の影響によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ78億5千2百万円増加し、2,620億3百万円（同比3.1%増）となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。なお、前連結会計年度末にて非連結子会社であったパシフィックエース西日本株式会社を新たに連結の範囲に含めたことにより、1億5千2百万円の現金及び現金同等物を受け入れております。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、120億9百万円の収入（前年同期20億2千9百万円の収入）となりました。たな卸資産の増減の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ99億7千9百万円の増加となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、189億4千万円の支出（前年同期29億8千万円の支出）となりました。連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出などにより、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ159億6千万円の減少となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、260億3千8百万円の収入（前年同期37億9千5百万円の支出）となりました。社債の発行による収入などにより、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ298億3千4百万円の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ192億5千8百万円増加し、610億8千9百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月30日付の「四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式の取得（完全子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、平成27年5月18日付で四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式を全株取得し、平成27年6月30日をみなし取得日として、同社を連結対象としたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において特別利益を計上しております。この影響等により、平成27年12月期通期の業績予想につきましては、平成27年2月4日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「特別利益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年5月18日付で当社が四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式を全株取得したことに伴い、平成27年6月30日をみなし取得日として同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,996	61,303
受取手形及び売掛金	27,797	31,747
有価証券	100	—
商品及び製品	25,659	30,759
仕掛品	547	682
原材料及び貯蔵品	2,166	3,992
その他	18,098	20,123
貸倒引当金	△316	△376
流動資産合計	116,050	148,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,132	34,516
機械装置及び運搬具（純額）	23,252	23,382
販売機器（純額）	27,113	31,669
土地	59,155	63,377
建設仮勘定	11	192
その他（純額）	1,457	2,292
有形固定資産合計	144,124	155,431
無形固定資産		
のれん	39,539	38,214
その他	8,160	8,624
無形固定資産合計	47,699	46,838
投資その他の資産		
投資有価証券	19,162	22,211
退職給付に係る資産	—	151
その他	10,622	10,615
貸倒引当金	△398	△586
投資その他の資産合計	29,386	32,391
固定資産合計	221,210	234,662
資産合計	337,260	382,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,750	26,681
1年内返済予定の長期借入金	2,517	2,517
未払法人税等	2,024	986
未払金	20,649	21,361
販売促進引当金	260	332
その他	8,173	7,281
流動負債合計	51,375	59,160
固定負債		
社債	20,000	50,000
長期借入金	2,719	1,460
退職給付に係る負債	3,871	3,608
役員退職慰労引当金	149	153
その他	4,993	6,506
固定負債合計	31,734	61,729
負債合計	83,109	120,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	131,355	137,921
自己株式	△4,580	△4,584
株主資本合計	251,079	257,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,389	5,015
繰延ヘッジ損益	317	151
為替換算調整勘定	16	15
退職給付に係る調整累計額	△1,026	△1,228
その他の包括利益累計額合計	2,696	3,953
少数株主持分	374	408
純資産合計	254,150	262,003
負債純資産合計	337,260	382,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	203,145	200,994
売上原価	100,884	99,742
売上総利益	102,260	101,252
販売費及び一般管理費	99,404	98,821
営業利益	2,855	2,430
営業外収益		
受取利息	43	23
受取配当金	197	203
持分法による投資利益	62	—
その他	444	345
営業外収益合計	748	572
営業外費用		
支払利息	281	173
持分法による投資損失	—	4
固定資産除却損	152	214
社債発行費	—	133
その他	292	181
営業外費用合計	725	707
経常利益	2,878	2,295
特別利益		
投資有価証券売却益	67	74
負ののれん発生益	—	8,445
特別利益合計	67	8,520
特別損失		
固定資産除却損	—	396
投資有価証券評価損	18	78
商品表記対応費用	190	—
構造改革費用	741	—
特別損失合計	950	475
税金等調整前四半期純利益	1,995	10,340
法人税、住民税及び事業税	875	1,052
法人税等調整額	249	417
法人税等合計	1,124	1,469
少数株主損益調整前四半期純利益	871	8,871
少数株主利益	11	13
四半期純利益	859	8,857

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	871	8,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	480	1,625
為替換算調整勘定	—	△1
退職給付に係る調整額	1,265	△209
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	△158
その他の包括利益合計	1,681	1,257
四半期包括利益	2,552	10,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,541	10,115
少数株主に係る四半期包括利益	11	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,995	10,340
減価償却費	11,238	11,323
のれん償却額	1,324	1,324
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△615	△526
受取利息及び受取配当金	△241	△226
支払利息	281	173
持分法による投資損益 (△は益)	△62	4
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△67	△74
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	18	78
固定資産売却損益 (△は益)	△170	△71
固定資産除却損	110	409
負ののれん発生益	—	△8,445
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,433	△1,397
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,101	△2,321
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,560	△142
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,925	5,701
その他の負債の増減額 (△は減少)	△3,488	△1,927
その他	9	322
小計	5,157	14,548
利息及び配当金の受取額	258	228
利息の支払額	△285	△171
法人税等の支払額	△3,275	△2,797
法人税等の還付額	175	202
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,029	12,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△13	△7
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,697	234
固定資産の取得による支出	△10,696	△9,861
固定資産の売却による収入	753	571
子会社株式の取得による支出	△301	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△10,124
長期貸付けによる支出	△680	△279
長期貸付金の回収による収入	280	480
定期預金の預入による支出	△105	△100
定期預金の払戻による収入	5,105	150
その他	△19	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,980	△18,940

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△50
長期借入金の返済による支出	△1,258	△1,258
社債の発行による収入	—	29,866
自己株式の取得による支出	△1	△3
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,292	△2,291
少数株主への配当金の支払額	△34	△34
その他	△208	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,795	26,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,746	19,106
現金及び現金同等物の期首残高	60,275	41,830
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	152
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,529	61,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	185,997	17,147	203,145
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	185,997	17,147	203,145
セグメント利益	1,438	1,417	2,855

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	184,703	16,290	200,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	184,703	16,290	200,994
セグメント利益	1,168	1,262	2,430

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

清涼飲料事業において、当社が平成27年5月18日付で、四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式を全株取得し、平成27年6月30日をみなし取得日として同社を連結対象としたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、8,445百万円の負ののれん発生益を計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的に算定された金額であります。